

空襲体験画リスト Aセット

解説パネル「…」はその下段に表示した絵画群全体の総説となっています。

解説パネル「爆撃」

B29など米軍機による空爆の様子が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
吉田 洋	焼夷弾の弾倉を開くB29	A1 (3)
吉田 洋	日本軍のサーチライトに照らされるB29	A2 (4)
五月女 健一	墨堤の地蔵坂上からB29の墜落を眺める	A3 (8)
榊山 次勇	東雲より炎上する墨田方面を望む	A4 (11)
笹川 和也	B29	A5 (12)
山崎 忠雄	東京初空襲～高田馬場方面上空を飛ぶB25	A6 (14)

解説パネル「遠望」

直接空襲を受けなかった周縁地域や疎開先から、空襲で炎上する東京の様子を見た記憶が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
堀切 正二郎	じゅうたん爆撃	A7 (32)
一ノ瀬 寿子	疎開先の伊豆・伊東から燃える東京を見る	A8 (33)
橋本 公佑	疎開地(茨城県)から見た3月10日の東京	A9 (34)
勝見 秀三郎	炎上する向島方面	A10 (36)
小野 博	1945年の記憶・東都炎上	A11 (37)
村尾 宵二	世田谷から見た、炎に染まる空とB29	A12 (39)
内藤 一彦	自宅のベランダから下町方面を見る	A13 (41)
牟田口 直道	高円寺から見た、炎に染まる空とB29	A14 (43)
野村 昭	疎開先の鴻巣で	A15 (45)
脇 三夫	火鳴りの底から～世田谷から見た火炎の竜巻	A16 (46)

解説パネル「炎のなかで」

空襲火災の中を逃げまどった人々が炎のなかで目撃した光景が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
狩野 光男	言問橋炎上～家族全員を亡くした橋の記憶	A17 (48)
三井 喜久雄	総武線ガード下で炎に取り囲まれ亡くなった人々	A18 (49)
村山 彰	4月の空襲で燃える板橋4丁目付近	A19 (50)
榎本 修司	兄を見失った場所～深川・大島電車通り	A20 (51)
宮入 恵次郎	浅草にて-貯水池でなくなった人々	A21 (57)
宮入 恵次郎	浅草にて-逃げまどう母子	A22 (58)
宮本 謙三	吾子が	A23 (63)
栗原 三雄	菊川橋の惨劇	A24 (68)
工藤 愛子	北十間川のほとり	A25 (70)
斎藤 栄子	炎が隅田川の水面をなめる・炎上する小舟	A26 (75)
山下 盛子	炎の中、足もとに飛んできた火ぶくれの赤ちゃん	A27 (85)
山岸 修	浅草橋交差点で炎に取り囲まれた人々	A28 (86)
山中 啓司	平井橋の混乱	A29 (87)
市橋 一郎	池のなかに避難する	A30 (88)
市川 浩	焼失直前のわが町	A31 (89)
小倉 茂山	炎に覆われる言問橋	A32 (92)
新井 泰夫	側溝の赤ちゃんに火炎が襲う	A33 (96)
須崎 八郎	燃える新宿の町～避難する家族	A34 (97)
清水 登志子	厩橋にて	A35 (98)
石黒 光江	叔母に背負われて逃げる～足に食い込んだ背負帯	A36 (99)
石川 堯	火災旋風の中、坂本市電通りを避難する人々の波	A37 (101)
石田 恭子	扇橋国民(小)学校・出入口に殺到する人々	A38 (103)
川井 満	昔、街が焼かれた～虫けらのように	A39 (104)
川上 紀雄	防火用水槽に避難する	A40 (105)
川上 紀雄	防火用水槽から見た光景	A41 (106)
大塚 萬夫	燃える深川の畳工場	A42 (108)
中村 弘子	中川に避難した人々を襲う火炎	A43 (110)
田熊 貞三	亀沢3丁目の母子～助けられなかった心の痛み	A44 (112)
田熊 貞三	火炎に覆われる東川国民(小)学校プール	A45 (113)
田中 トシ	炎上する隅田川の東武線鉄橋と浅草の松屋	A46 (115)
渡辺 忍	深川・恐怖の夜のはじまり	A47 (117)
美野川 邦久	明治座内から～火焰のなか次々に倒れる人々	A48 (121)
福島 靖祐	厩橋・3月10日の夜	A49 (125)
豊田 照夫	空襲で燃える家々	A50 (126)

作者名	絵画名	整理番号
本橋 桂子	母・弟との別れ～火炎の中を避難する私	A51 (128)
林 寿一	避難先の屋敷の火災をバケツリレーで消し止める	A52 (129)
澤 良彦	臨海国民(小)学校に逃げる	A53 (131)

解説パネル「死者・負傷者・避難民」

空襲直後に目撃した死者、負傷者、避難民の姿が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
狩野 光男	言問橋階段の惨状	A54 (133)
堀切 正二郎	おとりさま近くで	A55 (136)
堀切 正二郎	厩橋の防空壕で亡くなっていたおばあさん	A56 (138)
堀切 正二郎	都電停留所	A57 (150)
羽部 権四郎	江東橋・夜明けの惨状	A58 (159)
加瀬 美代	遺体引き上げと橋下で亡くなっていた母子	A59 (162)
金田 昌子	姉を捜して・3 へその緒で結ばれた母子の遺体	A60 (168)
恒川 貞雄	橋上から見た光景～遺体の引き上げ	A61 (171)
坂本 邦男	防火用水に浸かったまま白骨化した人	A62 (174)
市川 浩	奥州街道を埋めた被災者の長い列	A63 (181)
松原 伝蔵	消防署の下で立ったまま死んでいる人たち	A64 (185)
松崎 静江	流れ来る死体を見ながら学校へ	A65 (187)
石川 実揆彦	路上で亡くなっていた3人	A66 (190)
石田 百合子	亀戸付近の惨状～炭の人形のようになった人々	A67 (192)
赤堀 ヨシ	大やけどの静江さん	A68 (193)
川上 紀雄	空襲直後の惨状	A69 (194)
前野 栄造	亀戸ガード下・裸のマネキンのようになった人々	A70 (195)
中川 清	空襲直後の言問橋下～亡くなっていた母子	A71 (196)
中村 みつ	遺体の前で放心状態になった人たち	A72 (197)
中村 俊子	亀戸付近で見た光景	A73 (199)
中澤 利行	路上で亡くなっていた女性	A74 (200)
辻本 豊子	マネキン人形のようになった焼死体	A75 (202)
辻本 豊子	鐘ヶ淵駅近くの側溝を流れる赤ちゃんの手	A76 (203)
田村 稲雄	亀戸駅付近～小名木川貨物線ガード下の焼死体	A77 (204)
土田 宏	亀戸駅付近 総武線・小名木川貨物線分岐点	A78 (207)
土田 宏	都電柳島車庫前の焼け落ちた電車の鉄骨	A79 (213)
土田 宏	都立化学工業学校の惨状	A80 (214)
藤間 てる子	子供をかぼう泥人形のような遺体と鉄兜の山	A81 (215)
内藤 一彦	防火用水の中の母子	A82 (217)
苗村 光彦	日本橋・焼け跡の家族	A83 (221)
豊田 照夫	亀戸駅付近～強い火焰のため白骨化した人々	A84 (223)

解説パネル「遺体の収容と仮埋葬」

軍や警防団・警察による空襲犠牲者の遺体の収容と仮埋葬の様子が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
古川 千賀子	厩橋のたもと～引きあげられた遺体	A85 (229)
小島 久雄	蒲田・海老取川に漂着した空襲犠牲者	A86 (231)
中村 俊子	父よ弟よ～猿江恩賜公園に埋められた愛する家族	A87 (232)
田熊 貞三	緑町公園に集められた犠牲者の遺体	A88 (235)
田村 稲雄	砂町川の遺体引き上げ作業	A89 (236)
土田 宏	原公園の空襲犠牲者仮埋葬	A90 (237)

解説パネル「廃墟の家と町」

空襲で焼け落ちた作者の家や廃墟となった町の様子が描かれています。

作者名	絵画名	整理番号
堀切 正二郎	駒形橋から上野駅を遠望する	A91 (238)
宮本 謙三	バラックと水道	A92 (240)
宮本 謙三	焼木	A93 (241)
宮本 謙三	怨夜	A94 (242)
宮本 謙三	雲はどこへ行く	A95 (243)
秋長 政吉	焼け跡の交番	A96 (244)
松原 伝蔵	四の橋附近のガラスビン工場	A97 (245)
川井 満	昔、街が焼かれた～富士だけが残った	A98 (246)
土田 宏	わが家も被災	A99 (247)
濱中 榮次	列車から見た焼け跡の惨状	A100 (249)